

新潟県の金融経済動向

【基調判断】

県内景気は、原材料高の影響などを受けつつも、持ち直している。
輸出は、横ばい圏内の動きとなっている。設備投資は増加している。
個人消費は、一部で弱い動きとなっているものの、回復している。公共
投資は横ばい圏内の動きとなっている。住宅投資は弱めの動きとなっ
ている。

生産は、横ばい圏内の動きとなっている。企業収益は改善の動きがみ
られる。この間、雇用・所得環境は改善の動きがみられる。

本件に関するお問い合わせは以下までお願いします。

951-8622 新潟市中央区寄居町 344 番地

TEL : 025-222-3103 FAX : 025-227-1136

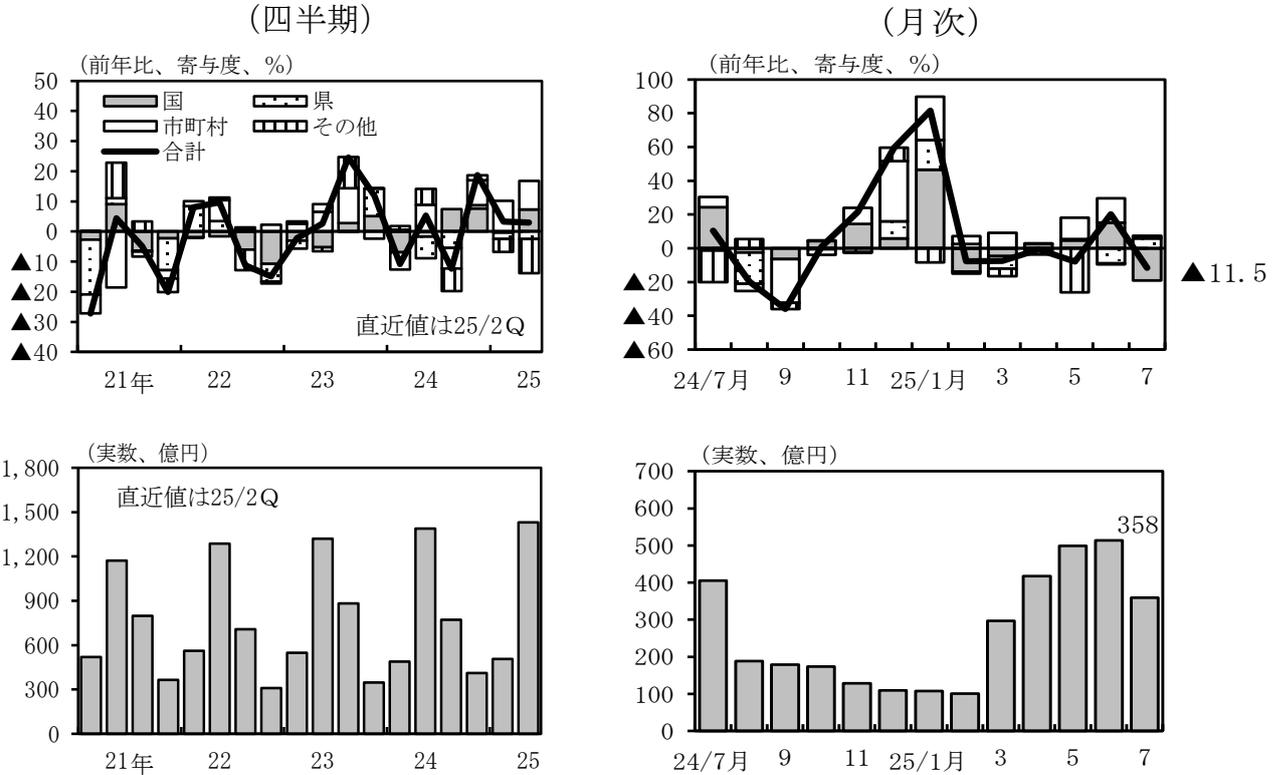
ホームページアドレス : <https://www3.boj.or.jp/niigata/>

1. 実体経済

公共投資は横ばい圏内の動きとなっている。

2025年7月の県内の公共工事請負金額は、国での発注減少により、前年を下回った。

[公共工事請負金額] (前年比・実数)



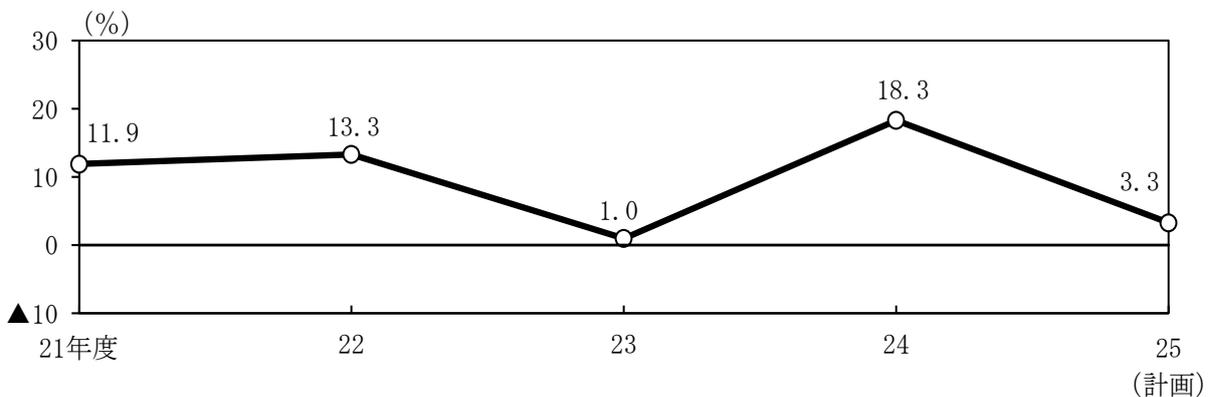
出所：東日本建設業保証(株)新潟支店

輸出は、横ばい圏内の動きとなっている。

最近の動向を業種別にみると、電気機械は緩やかに持ち直している。化学は横ばい圏内の動きとなっている。一般機械は回復の動きに一服感がみられる。金属製品（作業工具）は弱い動きとなっている。輸送用機械は弱めの動きとなっている。

2025年6月短観（製造業）では、2025年度は前年を上回る計画である。

[短観・輸出（製造業）] (前年比)



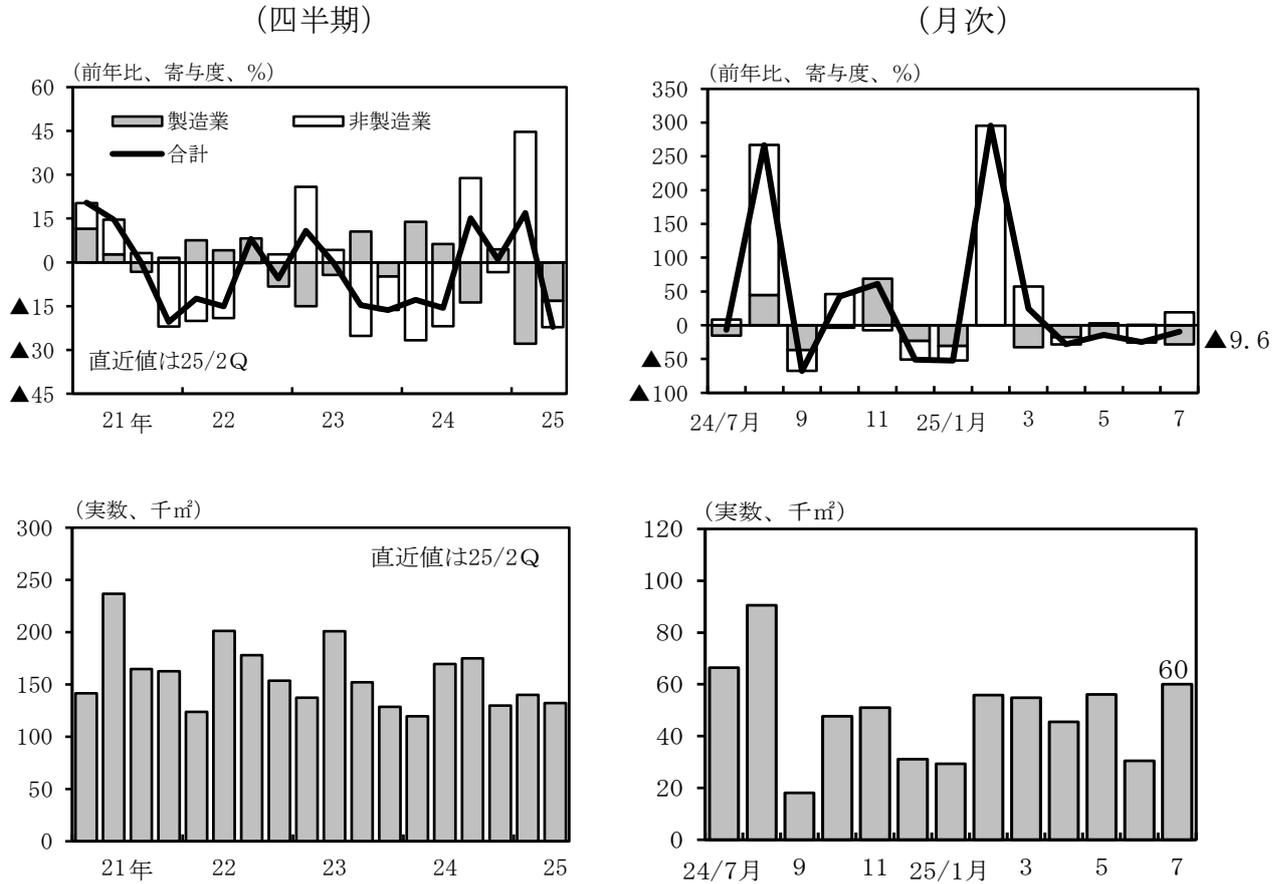
出所：日本銀行新潟支店

設備投資は増加している。

2025年7月の県内の建築着工床面積（非居住用）は、前年を下回った。

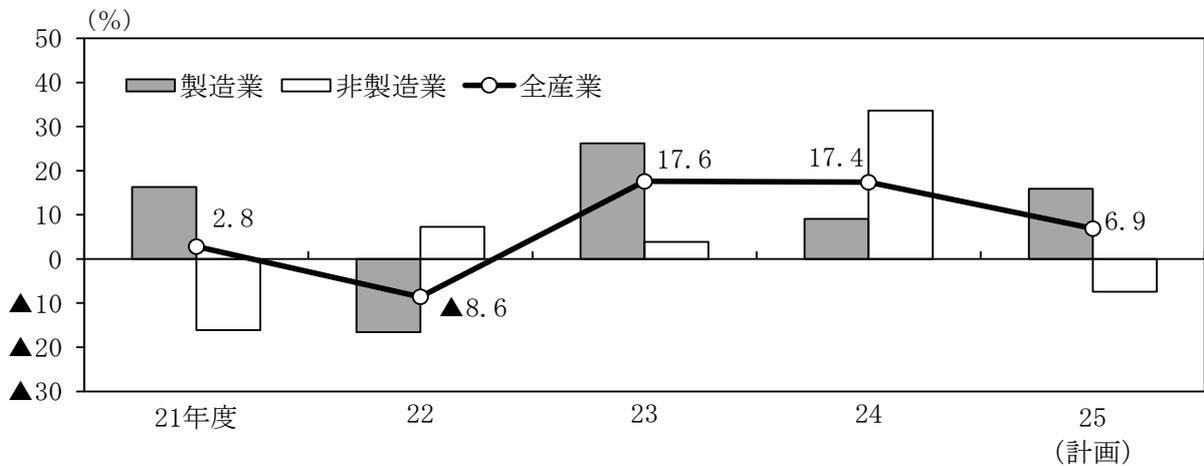
2025年6月短観では、2025年度は前年を上回る計画である。

[建築着工床面積（非居住用）]（前年比・実数）



出所：国土交通省

[短観・設備投資]（前年比）



出所：日本銀行新潟支店

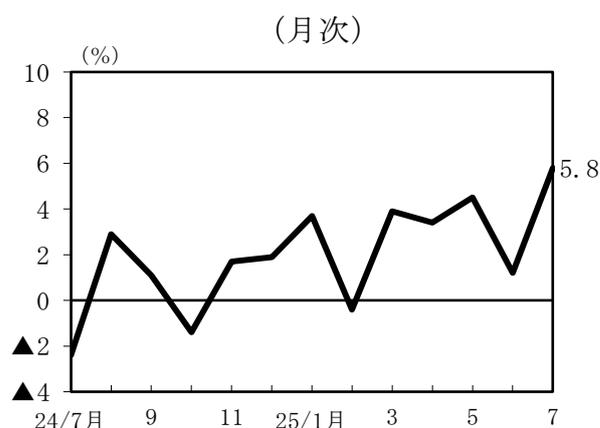
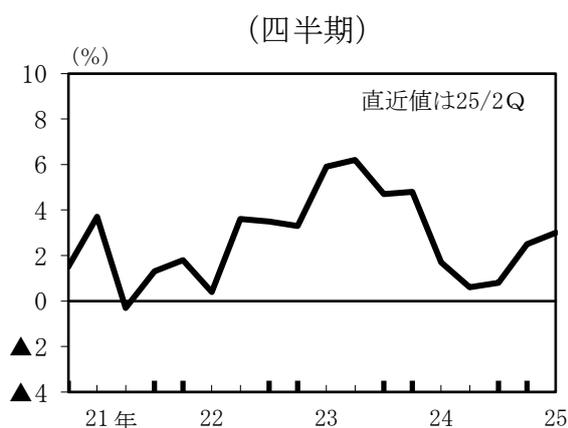
個人消費は、一部で弱い動きとなっているものの、回復している。

百貨店・スーパー販売額は、回復している。食料品は堅調に推移している。衣料品は持ち直しの動きに一服感がみられる。

乗用車の新車登録・届出台数は、緩やかに持ち直している。家電販売額は弱めの動きとなっている。

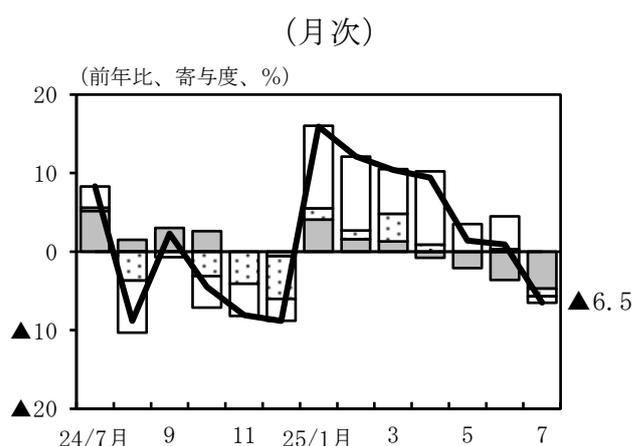
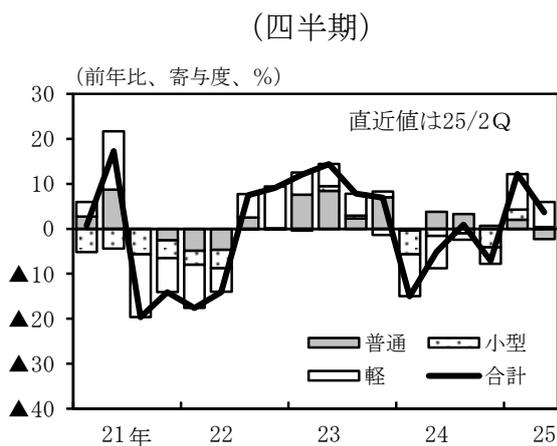
旅行取扱高は回復している。

[百貨店・スーパー販売額] (前年比)



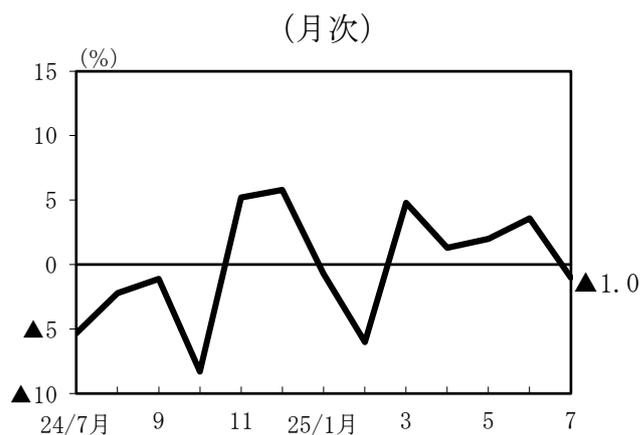
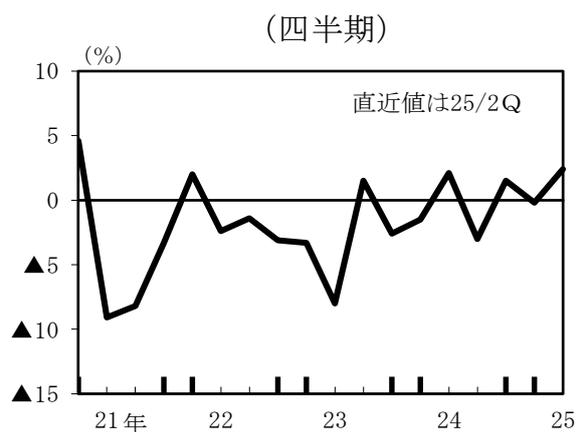
出所：経済産業省

[乗用車新車登録・届出台数] (前年比)



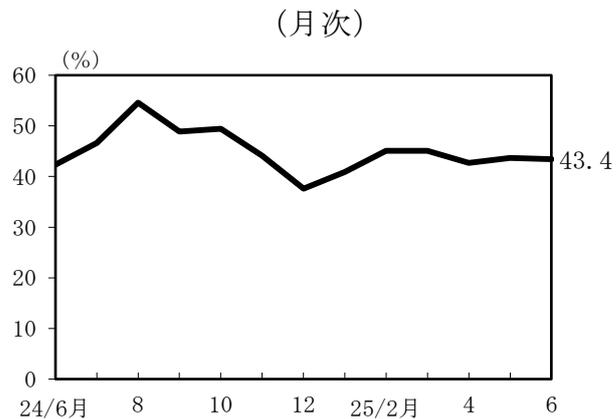
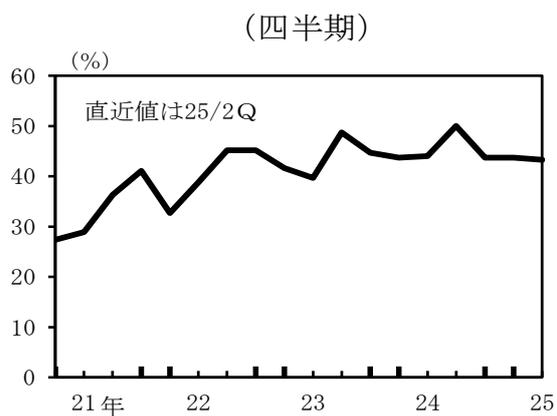
出所：新潟運輸支局

[家電大型専門店販売額] (前年比)



出所：経済産業省

[客室稼働率]

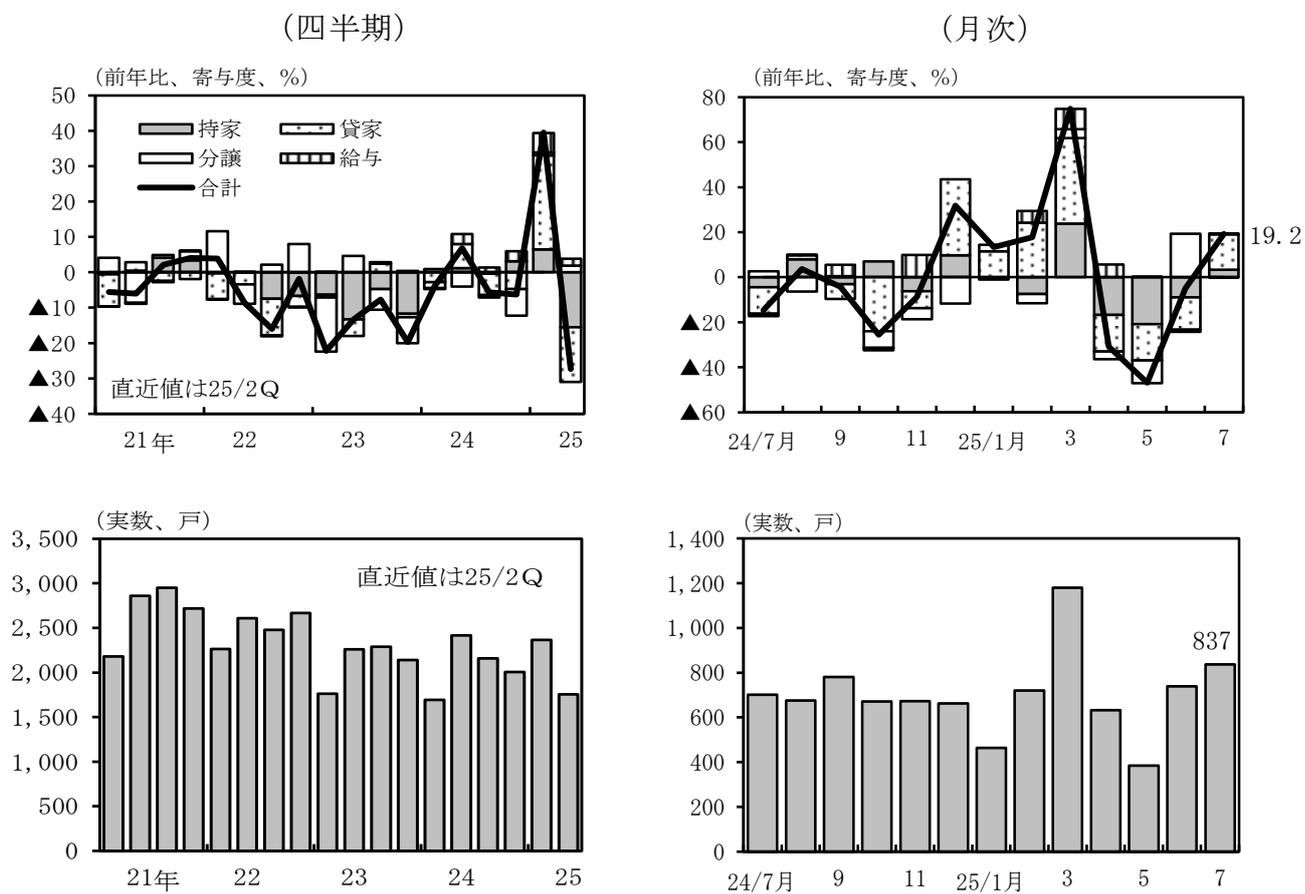


出所：観光庁

住宅投資は弱めの動きとなっている。

2025年7月の県内の新設住宅着工戸数は、貸家や持家などが増加したため、前年を上回った。

[新設住宅着工戸数] (前年比・実数)



出所：国土交通省

生産は、横ばい圏内の動きとなっている。

食料品（米菓、練り製品）は、堅調に推移している。

電子部品・デバイスは、緩やかに持ち直している。

一般機械（建設機械、工作機械、産業機械）は、回復の動きに一服感がみられる。

金属製品（作業工具）は、弱い動きとなっている。

化学は、横ばい圏内の動きとなっている。

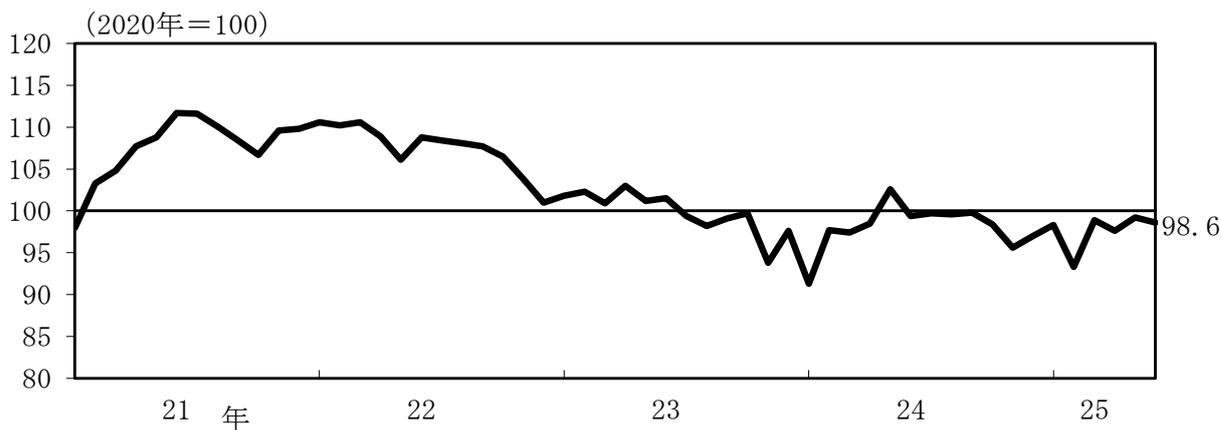
輸送用機械（自動車関連部品）は、弱めの動きとなっている。

鉄鋼は、弱い動きとなっている。

繊維は、低調な生産を続けている。

なお、2025年6月の県内の鉱工業生産指数は、前月比低下した（季調済前月比▲0.6%）。

[鉱工業生産指数]（月次・季節調整値）

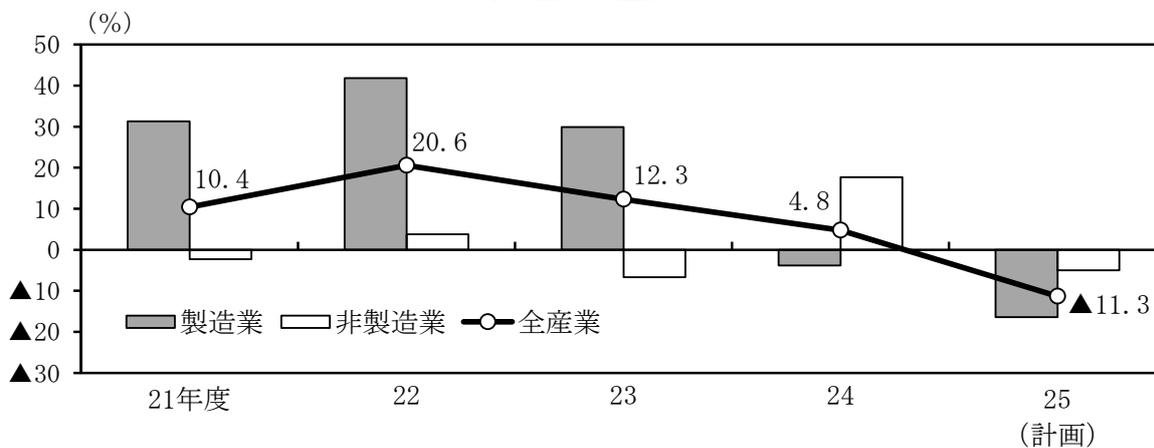


出所：新潟県

企業収益は改善の動きがみられる。

2025年6月短観では、2025年度の経常利益は減益の計画である。

[短観・経常利益]（前年比）

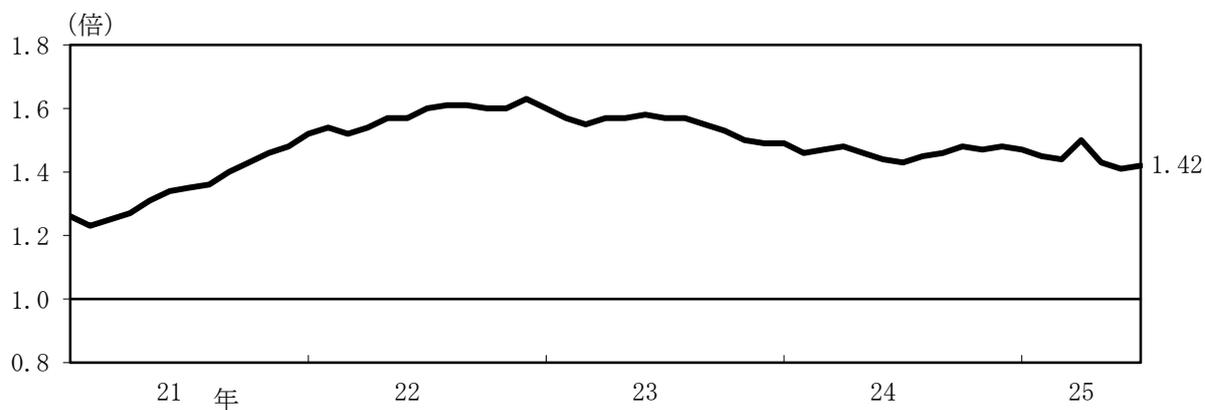


出所：日本銀行新潟支店

雇用・所得環境は改善の動きがみられる。

2025年7月の有効求人倍率（季節調整値）は、前月を上回った。求人数、求職者数ともに前月から増加した。

[有効求人倍率]（月次・季節調整値）

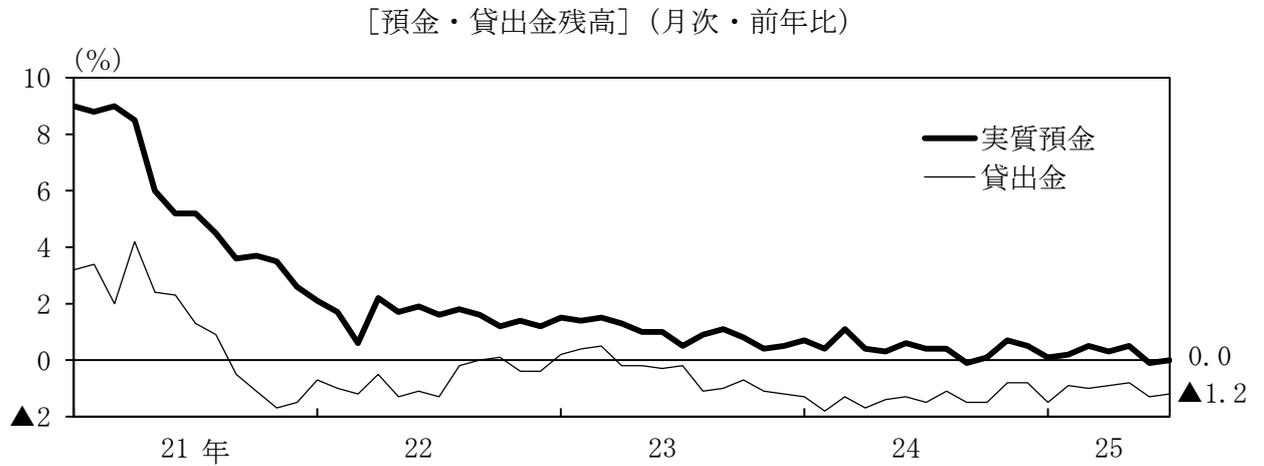


出所：新潟労働局

2. 金融

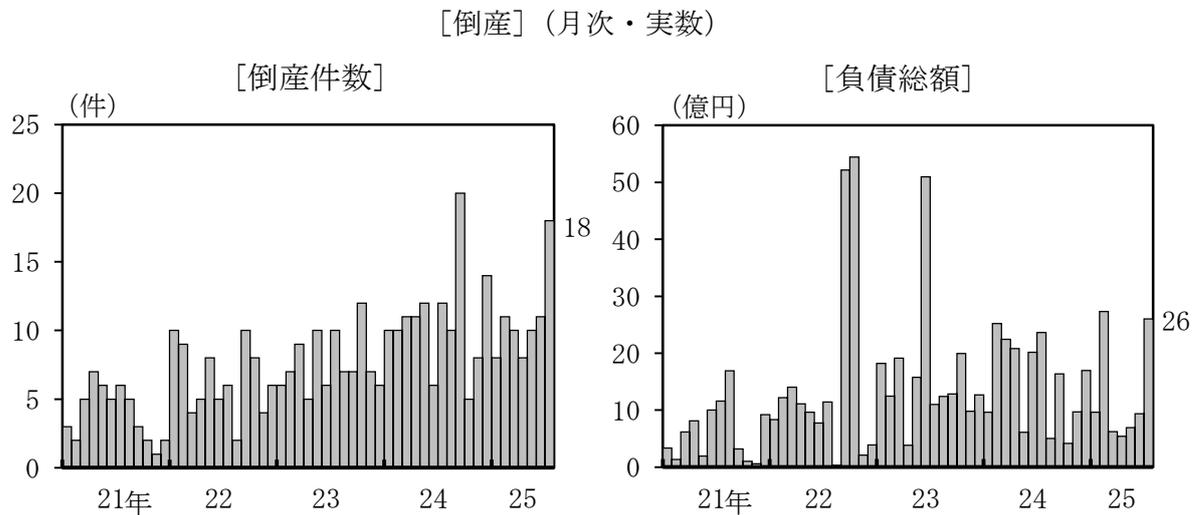
預金は前年並みとなっており、貸出金は減少している。

2025年7月の県内金融機関の実質預金は、前年並みとなった。また、貸出金は、前年を下回った。



企業倒産は、件数、負債総額ともに前年を上回った。

2025年7月の県内企業倒産は、件数、負債総額ともに前年を上回った。



2025年8月時点における項目別状況

【基調判断】

県内景気は、原材料高の影響などを受けつつも、持ち直している。

1. 実体経済

公共投資は横ばい圏内の動きとなっている。

2025年6月の県内の公共工事請負金額は、国や市町村での発注増加により、前年を上回った。

輸出は、横ばい圏内の動きとなっている。

最近の動向を業種別にみると、電気機械は緩やかに持ち直している。化学は横ばい圏内の動きとなっている。一般機械は回復の動きに一服感がみられる。金属製品（作業工具）は弱い動きとなっている。輸送用機械は弱めの動きとなっている。

設備投資は増加している。

2025年6月の県内の建築着工床面積（非居住用）は、前年を下回った。

個人消費は、一部で弱い動きとなっているものの、回復している。

百貨店・スーパー販売額は、回復している。食料品は堅調に推移している。衣料品は持ち直しの動きに一服感がみられる。

乗用車の新車登録・届出台数は、緩やかに持ち直している。家電販売額は弱めの動きとなっている。

旅行取扱高は回復している。

住宅投資は弱めの動きとなっている。

2025年6月の県内の新設住宅着工戸数は、貸家や持家などが減少したため、前年を下回った。

生産は、横ばい圏内の動きとなっている。

食料品（米菓、練り製品）は、堅調に推移している。

電子部品・デバイスは、緩やかに持ち直している。

一般機械（建設機械、工作機械、産業機械）は、回復の動きに一服感がみられる。

金属製品（作業工具）は、弱い動きとなっている。

化学は、横ばい圏内の動きとなっている。

輸送用機械（自動車関連部品）は、弱めの動きとなっている。

鉄鋼は、弱い動きとなっている。

繊維は、低調な生産を続けている。

なお、2025年5月の県内の鉱工業生産指数は、前月比上昇した（季調済前月比+1.6%）。

雇用・所得環境は改善の動きがみられる。

2025年6月の有効求人倍率（季節調整値）は、前月を下回った。求人数は前月から減少し、求職者数は前月から増加した。

2. 金融

預金、貸出金ともに減少している。

2025年6月の県内金融機関の実質預金、貸出金は、前年を下回った。

企業倒産は、件数は前年を上回ったが、負債総額は前年を下回った。

2025年6月の県内企業倒産は、件数は前年を上回ったが、負債総額は前年を下回った。

以 上